

市長と語る市政ミーティング実施報告書

開催日時	令和5年1月26日（木）午後3時15分 ～ 午後4時35分
会場	西部地区公民館 研修室
実施町会	米沢、高松、谷沢、清助新田
市政ミーティングの内容（意見交換等の内容等）	
<p>① 小中学校の統合について、もう少しじっくり検討するという事で、大変良いと思います。高松地区の考えは、西部地区の中心は高松ということで、これまでも教育の中心であった。今回の案では、醍醐小学校の方に移るという話があった。建物が一番新しいということだと思いますが、高松地区民としてはなかなか納得がいかない。もし万が一、新しい校舎の設置場所が決まったら、今の跡地をどういうふうに活用するのかがまで検討していただきたい。高松地区に農業校舎の跡地があり、空き地となっているので跡地の利用方法なども良く検討していただきたい。</p> <p>→ 学校再編については、いろんな御意見がありますので、地域の将来の位置づけなども含みながら検討しています。その中で高松地区をどうするかとなると、先ほどもお話ししましたが跡地をどうしていくかということの色んな人が集まるような施設を後の校舎を使っていくということと一緒に計画として出していないと、地域が廃れていくという風に思ってしまうので、我々としては、たとえその学校が無くなったとしてもその場所を利用して新たな施設を作っていけないか、利活用していくような施設ができないかということ併せて検討しております。</p> <p>② 市立病院ですが、診察時間が長い。まる半日はかかる。もう少し短時間で診察していただける方法はないのか。</p> <p>→ 市立病院の診察時間が長いという件については、話しておきます。色々なシステムを電子化して待ち時間などを短くすることはできると思いますから、そういうものを含めて新しい病院を建てればそういうことも可能になっていくんだと思います。</p> <p>③ 除雪の関係でクレームが来ている。生活道路の除雪が非常に遅く、出勤できない。車が出られない。実際見てみると、米沢のメイン道路は午前5時半頃除雪なるが、支線になると早くて10時半頃の除雪になっていて、出勤に間に合わない。遅くなった原因は、以前は八畝地区にあった芳賀水道が除雪担当の時は早かったが、今回は、宮内建設が請け負って除雪を行っている。米沢に来るのが、八畝、高松が終わって一番最後に来る。除雪業者をもう少し増やしてもらって除雪時間</p>	

を早くしてもらような方法を取れないのか。

→ 除雪について今の話は伝えますが、なお除雪の業者は除雪協力会という30何社で作っていただいている訳で、個人でやっていただいているところもありますし、会社で引き受けているところもありますが、実際にやる方は大変なんです。明日出勤するとかは分からないので、毎朝2時半頃から待機している。昔から比べるとだんだん早くなってきている。なので、やりたいという方が少ない。地域の熟知している人でないとなかなか丁寧な除雪はできないということもあるので、地域の人にしてもらいたいが、なかなかいなく、無理してお願いをしているということもあります。応募者が多く、その中から上手な人をピックアップして除雪をしているということではなく、実際はその逆。ただ、具体的に色々な苦情がきているところが結構ありますので、そのところはきちんと伝えて改善できるところは改善していますので、建設管理課の方で受け止めて対応していきたいと思います。

④ 1月13日の市報に工業団地西側を予定として拡張の検討を進めていきますと記載されていますが、それに合わせて同じ都市計画マスタープランでJR高松駅南側の住宅団地開発も若干見通しがたってきたみたいですが、市としてのコメントがあれば。

→ 工業団地もだいぶ残り少なくなっているのので、新たな工業団地の増設を考えていかなければならないと思っています。マスタープランの中でも計画しているので、一番良いのは今の工業団地周辺ということになる。西側のシェルターさん辺りになれば高松駅周辺などは工業団地の事業所の従業員の住む住宅という意味では新たな需要が出てくる可能性もあるというふうに我々も考えているので、そういう意味での住宅団地の色染をマスタープランの中で行っています。ただ、やはり民間の住宅造成事業者からまだ触手が動いてこないところである。今後見通しをどういうふうにもっていくかということによって、ある程度行政が手を出す、主体的にやっていく必要があるのかなども含めて検討しているところであります。民間事業者も、行政がバックアップしてくれれば団地の造成にとりかかることができるという話も来ておりますので、工業団地の造成と一体となって住宅団地などについても整備をしていく必要があるのではないかなと思います。南部地区に工業団地をという声もありましたが、浸水想定区域になっているので事業者が手を出さないんだと思います。今は、安全ということが非常に企業は敏感なので。今の工業団地は良い水は出ないが、川から遠いとか、地滑りの地帯から遠いとか、安全な場所にある。そういった意味で工業団地周辺はまだニーズが高いので、その周辺の高松地区の住宅団地などもニーズが高いのではないかなと思っています。

⑤ 側溝整備について、高松地区の住民の要求は道路や側溝整備のウエイトが大きい。以前ある路線を側溝整備として要望したが、側溝整備ではほとんど実現が不可能という指導を受け、用悪水路に変更した経緯がある。また、用悪水路の整備

も着手するまで時間がかかるし、着手してもなかなか工事が進まないと実感している。ふるさと納税で得た潤沢な財源の一部をなんとか。側溝整備は道路の幅も広がり、道路の価値も上がりますし、住民の利便性も高まりますので、生活しやすい快適なふるさとづくりということで、用悪水路というより側溝整備という方向で配分をよろしくお願ひしたい。

→ 寒河江市全体から要望書が上がってくるので、その中で側溝整備は要望が多い案件。それと比べると用悪水路は側溝整備の要望件数より少なく、事業化になりやすい案件なので、そういうアドバイスもあったのかなというふうに思います。要望に応えられるようにもっと側溝整備に予算をとということ。ずっと要望が溜まってくるので何年かに一度どんと予算をつける時がある。少し頑張っていきたいと思います。

⑥ 空き家の問題。他の人に迷惑かからない空き家は問題ないが、日陰で雪が解けない、その上屋根の雪下ろしをしない空き家がある。隣接する家にいつ倒れてくるか分からなく、町会に相談に来るが、町会では対応できる規模の案件ではないので市の担当に相談しました。市の方としては身内や関係者に働きかけるのだと思います。ただ、身内や関係者が早急に対応しなければ、その恐ろしい状況が続く訳です。非常に難しい問題ですが、国の方も空き地対策特別措置法の改正案を出しているようですし、全国的に色々な事例があると思いますので、市として大きな事故に繋がらないように研究・検討していただきよりしっかりした対処マニュアルなどを作成してもらい対応していただけるようお願いしたい。

→ 空き家の雪対策については、そういう場合は何とかしていかないと。倒壊してからでは遅いので、そこは行政で代執行はできないのか。まずは所有者の方が何らかの対応をしていただくのが大前提。それができない場合に関しては、調べてみたいと思います。

⑦ 学校再編について、全部寒河江市の中心に行ってしまうが、別に中心に行かなくても良いのではないかな。もっと環境の良いところでぼんと一つくらい小学校を置いてもいいのかなど。

→ 学校再編の話は先ほどから申しあげておりますので。町会長のような御意見の方も沢山いらっしゃると思いますので、そういった御意見をお伺いしてどうしていくか、見直しをして地域の活性化のためにどういう再編をしていくかということは今検討していますので、色んな機会を設けて更に御意見を頂戴できる機会があると思いますのでよろしくお願ひします。地域が廃れていくのが一番あってはならないと思いますので、学校の再編がそういうことに拍車をかけることがないようにしていかなければと思います。また、ある程度教育委員会の考えがまとまった段階で御意見を頂戴できる機会があると思いますので町会長の意見も教育委員会に伝えていきたいと思います。

⑧ 谷沢の魅力・シンボルは何かと役員の中で話をした時、今は全部果樹園になっ

てしまったが、つつじ山と谷沢梅だと。それで谷沢梅にこだわった地域づくりができないかという話になった。ところが、谷沢梅を作る人が高齢化となり、作る人が少なくなってきた。そういうこともあり、谷沢梅を使って市内外から交流人口を増やして谷沢の魅力を発信していけないかという課題だった。谷沢梅を使った収穫作業や梅干し作りなど、体験ツアーなどを含めながら谷沢に来てもらい、谷沢の魅力を発信していけないかと。作る人が高齢化で減ってきており、このままでは谷沢梅が無くなってしまおうのではという心配があるので、何とかしなきゃいけないという話がありました。それには、いこいの森と連携できないか、いこいの森の中に谷沢梅に関する施設を設け、お客さんに来てもらい体験をしてもらう。また、周辺には耕作放棄地も多くあるので、梅を植えて梅林を造ったりして体験の事業をしてもらうとか。こんなことも市の方とも御協力をいただきながら何とか具現化できないかなというふうに考えています。

→ 寒河江の伝統野菜は御案内のとおり子姫芋と谷沢梅と食用菊が伝統野菜として市でも支援しています。谷沢梅は高齢化で後継者がいないと、一番大事なのは。後継者をいかに作っていくかということがないと困る訳なので、そこをどうするか。伝統的な谷沢梅を守っていくための人材確保というのが重要だと思います。そのために若い人たちに興味を持ってもらえるようなイベントなどの取組みを我々もさせていただきたいと思いますから、そういう時はやはり栽培農家の方や地域の方にぜひ御協力をいただいてしていかないとPRできないので、そういうふうに協力をお願いしたい。いこいの森をこれから整備しようとしていますから、その中でそういうゲストハウスみたいなものを何かリニューアルして設けていくのも可能性としてはあると思いますので、その辺は我々としても谷沢梅を守っていくための色々な事業なども取組ませていただきたいというふうに思いますので、色々な御意見を頂戴できればと思います。

⑨ 中谷沢の集落を囲むように上下に用悪水路があるが、夏場は蚊の発生や悪臭があり非常に困っていたが、今年の秋から冬にかけて測量が入った。このまま来年あたり工事が入ってもらえればありがたい。要望を出してから3年目になりますが、測量が入って非常に喜んでおります。

→ 測量の委託については全部終わっています。予算は今財政課と調整していますので、予算がつけば来年度に行いたいなと思っているところです。

⑩ 清助新田は寒河江で一番子供が少ない区になるのかなと思っている。小学校に入っている子供が150世帯で3人だけと大変少ないことが危惧されている。子供がいなければ子供を育てる親もいない。事業をしても子供や親が参加できるものがないので、参加できるような事業を模索している。これらに対して、今の若者が何を求めているのか勉強会などを企画してほしい。

→ 小学生が3人しかいないのはちょっと寂しい。確かに若い人たちの色々な考え方というのはなかなか理解できないところがあります。民法上、18歳から成人となりましたが、寒河江市は引き続き20歳になって「20歳の集い」と

してお祝いをしています。その時もアンケートなど取っていますし、婚活などで何とか若い方にそういう所にも出てきてもらったり興味を持ってもらったりと、そういう取組を行っています。今までは行政が前面に出るとなかなか若い人たちが嫌がるという傾向がありますが、若い人たちの傾向を把握しながら少しでも寒河江市内で結婚したり子供を育てたり、移住してきたりする人を増やしていければなと思っています。是非皆さんからも色々な御意見を頂戴できればなと思っています。

- ⑪ 公的機関が無くなったとしても、西村山の中心は高松だと私は考える。消防、警察いずれも移転すると聞いているので、高松地区をその候補先に考えていただいて、西郡の中心は高松だとアピールしていただければなと思っています。どこの市町村よりも高松は287号線、112号線が最も近いので検討していただければ。

→ 学校が無くなる計画があるので、その跡をどうしていくかと想定した時に寒河江警察署の下に活断層が走っているため移転の要望を県に出しているが、新庄警察署の工事が終了したので、次の改修が寒河江警察署の可能性はある。消防の方も老朽化しており借地も多いため移転をしなければならない。機能からすると、警察署と消防署が尾花沢市のように隣同士にあったとしても別に悪くはない。広い土地が必要となると、高松地区にという可能性はないことはないと思いますので、そういうふうにし少し多面的に考えてもいいのかなと。消防署の移転に関しては地元が考えるということになっている、寒河江市が考えるということになっているとのこと。それが地域の活性化になるかどうかは色々御意見があると思いますが考えていきたいと思っています。

- ⑫ 市立病院のドクターのマナーについて。医療人としてドクターは患者に寄り添うことが必要と思うが、高齢者に対しては「医療費の無駄だ」と、患者に対して直接言っているのを聞いたことがある。大変寂しいところである。マナーに欠ける医療人に対して対応を検討していただければ。

→ 市立病院の件は、嚴重に注意するよう申しあげておきます。

- ⑬ 婦人会が各町会から無くなり、女性が町会の行事に参加する機会がほとんどない。女性の活躍の場をうまい方法でやっている町会があれば教えてほしい。

→ 地元の金谷地区ではエプロンスクール、趣味で月に一回とかはふた月に一回講師を呼んで勉強したり料理したりする組織がある。そういう組織が何かの時に協力してくれる。あとは、地区公民館に相談して女性が興味を持つような講座を作ってもらったらどうか。負担にならないような少し緩い組織を作ったまに何かするとき手伝ってもらおうとか。公民館にも考えてもらうように話しておきます。

後日回答（担当課より）

①空き家の雪対策について代執行出来ないか。

<回答>

代執行につきましては、多額の費用を費やすこととなりますので、関係課と協議の上、慎重に進めていく必要がございます。道路等に雪崩が落ちそうな雪の場合は、歩行者等に与える影響を確認したうえで、改めて対応を検討したいと思います。

【建設管理課】

② ドクターは患者に寄り添うことが必要だが、高齢者に対して「医療費の無駄だ」と直接言っている。マナーに欠けているのでは。対応を検討してほしい。

<回答>

高齢の患者様の診療では、様々な症状に対する不安や要望に応じて薬を処方すると種類や量が多くなってしまい、また、御高齢ゆえ薬の管理に苦勞される場合があります。体の状態にあわせ、薬の種類を整理する際や適量処方の際などは、“薬局での自己負担が増えて大変になるのでは…”との配慮から「医療費が無駄にならないように」という説明であっても、そういった誤解を招くような表現につながりやすいと捉えております。この度は、職員の配慮不足から不快な思いをさせてしまい、心よりお詫び申しあげます。今後、周囲の患者様がそのような言葉だけを聞くと、違った意味に聞こえてくる場合もあることから、言葉の表現やお声の掛け方など、より丁寧な対応について職員一同心がけてまいります。

【市立病院】

③ 婦人会が各町会からなくなり、女性が活躍する場がない。西部地区公民館で、女性を対象とした事業を考えてほしい。

<回答>

これまで女性の地位向上や地域の女性同士の交流及び地域の各種事業でのサポート等の活躍等を目的として、婦人会が組織されておりましたが、時代の流れや後継者不足などで、西部地区内の高松・醍醐・白岩地区婦人会は全て解散し、地区婦人会主催（西部地区公民館共催）の事業も行われなくなりました。

ご要望の西部地区公民館主催の女性を対象とした事業につきましては、西部地区公民館でも何かできないかと考えていたところですので、まずは主催事業への女性の参加を積極的に呼びかけるとともに、女性が参加しやすい事業を考えていくなどしてまいります。

【生涯学習課】